

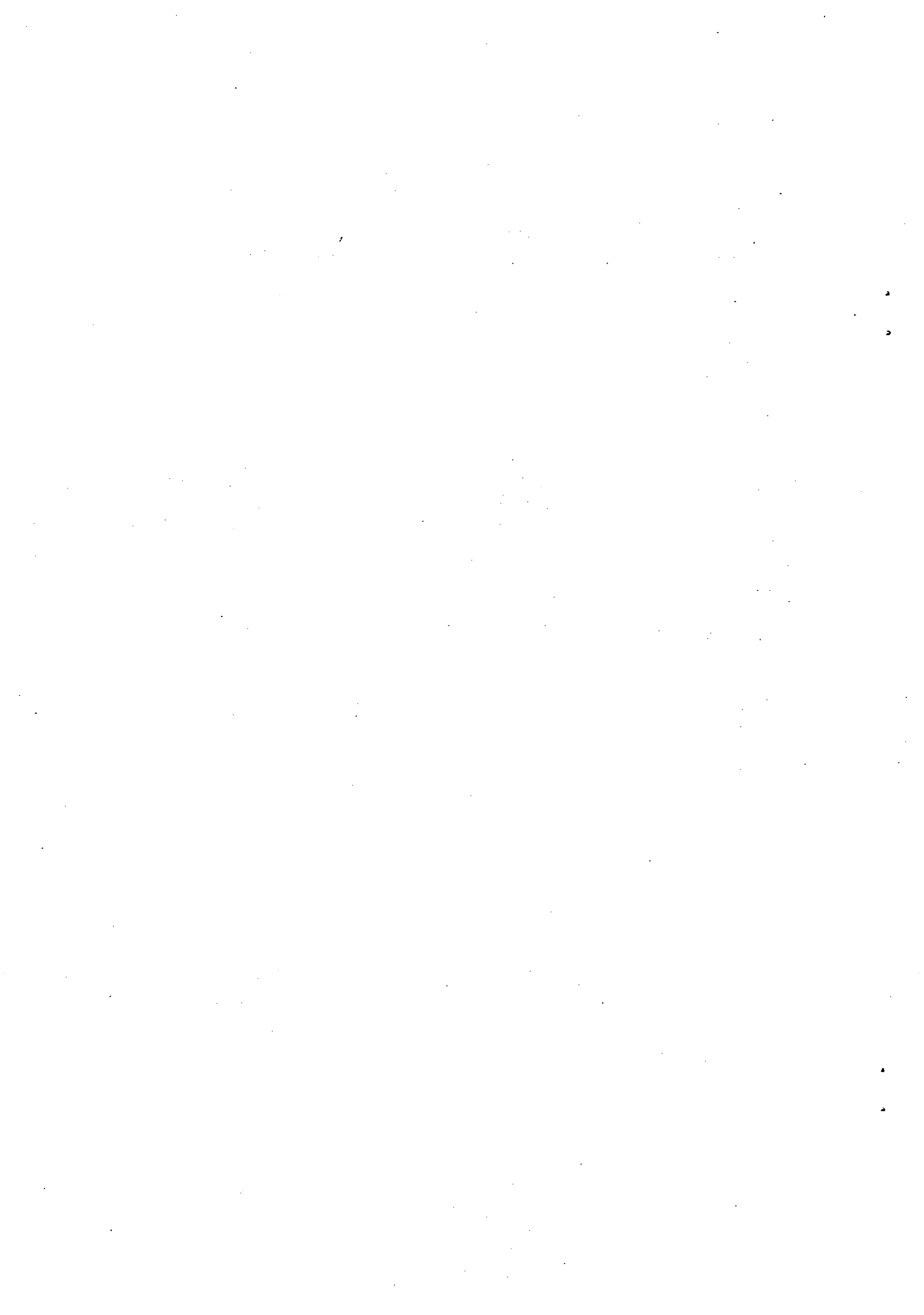
# 道徳科に主体的に取り組む児童を 育成する授業の在り方

～1学年における授業の工夫と道徳ノートの活用を通して～



栄町立安食小学校

佐々木 智美



## 1 研究主題

### 道德科に主体的に取り組む児童を育成する授業の在り方 ～1学年における授業の工夫と道德ノートの活用を通して～

本校では、「道德科に主体的に取り組む児童」を育成していくため、授業の改善を行っていく。課題を追究していくうえで、「主体的に取り組む児童」を「自ら価値について考え、友達の意見を受け入れながら伝え合ったり、考えたことをノートに表現したりする力」と定義した。自分のこととして価値について考えたり、友達と議論したりすることは、価値理解や価値を多面的・多角的に捉える力につながっていく。主体的に取り組ませるための工夫として、授業では、価値を自分のこととして深く考えられるような発問の工夫を行ったり、意図的・計画的に考えを伝え合う活動やノート等で自分の思考したことを表現する場を設定したりしていく。

## 2 主題設定の理由

### (1) 社会的なニーズから

近年の社会は「知識基盤社会」であり、こうした社会認識は今後も継承されるものと考えられている。また、情報化やグローバル化は、私たちの予想を超えて進展しており、さらに、人工知能の進化は、社会や生活を今後大きく変えていくことが予想されている。このような社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となってきており、選択する職業や人生を含め、すべての子どもたちの生き方に影響するものとなっている。このように、大きく変動期を迎えた社会構造を背景に、価値観の多様化が進展し、これまで社会で通用してきた倫理観や規範意識も揺らいできている。学校現場においても、深刻ないじめ、校内暴力、不登校、学級崩壊、非行などが社会問題となっている。また、子どもたちの人間関係の希薄化、規範意識の低下、自尊感情や自己肯定感の低下なども問題視されている。

以上のような状況を踏まえ、小学校では平成30年度より道德が教科化されることとなった。道德科の教科化は、多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道德としての問題を考え続ける姿こそ道德教育で養うべき基本的資質であるという認識で「考え、議論する道德」への転換を図るものとして行われた。このような時代だからこそ、子どもたちは変化を前向きに受け止め、社会や人生を人間ならではの感性を働かせ、自らの可能性を発揮し、今後出会う道德的価値に向き合いながら、よりよい社会と幸福な人生の作り手となる力を身に付けていく必要があるのである。

そこで、予測困難な社会の中にあっても、その変化に柔軟に対応し、答えが一つでない道德的な課題に出会った時に一人ひとりが自分の問題と捉え、向き合っていく力をつけていくためには、道德の授業においても自分の問題として主体的に向き合うことが重要であると考え本主題を設定した。

## (2) 学校教育目標から

本校の学校教育目標は、各法令や新指導要領総則の精神を受け、千葉県教育委員会のビジョン及び栄町教育委員会の教育プランに則り、児童の実態及び保護者の願いや地域の特色に沿って、以下のよう  
に設定している。

「豊かな心を持ち、一人ひとりが主役となれる学校～よく学び、よく遊べ、感動いっぱい安食小～」

それを受けて、4つの目指す児童像がある。

- (1) 思いやりのある子
- (2) よく考え、学び合う子
- (3) 健康で粘り強い子
- (4) きまりをよく守りよく働く子

この4点は「生きる力」の要素ともいえるものであり、学校生活のあらゆる場でその実現を目指し、日常の実践を積み重ねている。特に道徳の学習では、「学び合い、伝え合い」から思いやりのある子（心の教育）、よく考え、友達ともに学び合う子（自己教育力）が中心となっている。学び合うためには、相手を尊重することが大切であり、自己を確立し、豊かな人間性を築く場の要として、「議論し、考えを伝え合う」ことで主体的に取り組んでいく児童を目指していきたい。

## (3) 児童の実態から

安食小学校は高台に構え、水田地域や利根川が見下ろせ、遙か彼方には富士山、筑波山を望むことができ、豊かな自然環境に恵まれている。創立145年の歴史がある本校は、古くから商店街と農業地域と新興住宅の混在する地域にあり、地域住民の温かい協力に支えられながら、児童は素直で明るくのびのびと生活している。

以前は農業や商業を中心とする親子3世代、4世代の家庭が多かったが、最近では新築の家やアパートが多く建てられ、核家族や母子家庭、父子家庭など複雑な家庭環境の中で育っている児童も多くなってきた。素直で優しく、のびのびと生活している一方、語彙力が乏しく、すぐに手が出てしまったり、深く考慮せずに行動し友達とのトラブルになったりすることも少なくない。

そこで、児童が道徳の授業の中で、価値について自分の問題として捉え、深く考え、友達に自分の考えを伝えたり、逆に友達の考えをきいて自分の考えを見つめなおしたり、自分の考えをノートに表現したりする活動をしていく。そうすることで、様々な問題に直面したときにもじっくりと考えたり、友達と話し合ったりできる児童が育ち、日々変化する生活の中でもじっくり考えて行動したり、相手に自分の考えを伝えたり聞いたりすることで、相手とよりよい関係が作れるのではないかと考える。

## 3 研究仮説と具体的な手立て

児童が主体的に道徳科に取り組めるようにするための手立てとして、副主題では「授業の工夫」と「道徳ノートの活用」という2点に重点を置いた。

具体的には、次のような仮説を立て、研究を進めていく。

## (1) 研究仮説

### 【仮説1】

誰もがわかる簡潔な指示や発問をし、「何を考えるとよいのか」を明確にすることで、道徳科の学習に主体的に取り組む児童の育成につながるだろう。

### 【仮説2】

道徳ノートに自分の思考を整理し、振り返りや自己評価を丁寧に積み重ねていけば、道徳科の学習に主体的に取り組む児童の育成につながるだろう。

## (2) 具体的な手立て

### ①自分の考えを表現するための授業の工夫（仮説1）

研究主題でも述べたとおり、「主体的に取り組む児童」を「自ら価値について考え、友達の意見を受け入れながら伝え合ったり、考えたことをノートに表現したりする力」と定義した。そこで、自分の考えを持てるような授業の工夫や発問の工夫を行い、さらに意図的に全員が自分の考えを表現するような場面を設定することで、道徳科に主体的に取り組む児童が育つのではないかと考えた。具体的には、以下のようなことを行っていく。

- (1)発問の工夫①・・・テーマ発問（その授業で考えることを明確にするために、一本筋を通す「問題」のようなものであり、授業全体を通して考えていく課題である。他教科の学習問題のように黒板に提示し、クラス全体で価値についての課題を共有していく発問）を行い、課題解決型の授業になるようにする。
- (2)教材提示の工夫・・・黒板シアター（挿絵を黒板に貼りながら人形劇のように教材を提示していく。）を行い、低学年の児童にも短い時間で教材の内容が理解できるようにする。
- (3)表情図の活用・・・気持ちのカードを選ぶことで、語彙が少ない児童が登場人物の気持ちに自分のこととして寄り添うことができるようにする。
- (4)発問の工夫②・・・中心発問では全員が自分の考えが持てるように発問を工夫する。
- (5)話し合い活動の工夫・・・全体での話し合いに限らず、ペアでの話し合いを多く取り入れ、全員が自分の言葉で考えを伝え合う場面を設定する。
- (6)板書の工夫・・・気持ちの変化や児童の葛藤する意見を視覚的に板書に残すようにし、さらに思考できるようにする。



## 4 実践例 第1学年① (資料5ページ～)

主題名 優しい心で

内容項目名 親切, 思いやり ( B- (6) )

教材名「はしのうえのおおかみ」 出典「小学どうとく1 はばたこうあすへ」(教育出版)

教材について

本教材は、主人公のおおかみが、うさぎたちを相手におもしろがっていじわるを続けるが、今度は自分がそうされると思ったくまに親切にされ、自分の行為を振り返り、優しい心で親切にするという内容である。自分より小さな動物に対していじわるをするおおかみや、そんなおおかみに優しくするくまの姿は、児童の普通の生活に近く共感しやすい。いたずらして楽しんでいるおおかみの気持ちと、くまの行為に心を打たれたおおかみがくまのように「自分より小さな人」に優しくした時のおおかみの気持ちの違いを話し合うことで、親切な行動のよさを十分に感じさせたい教材である。

仮説との関わり

- 仮説1(1)発問の工夫①・・・「やさしくするとどんなことがあるのか」というねらいに迫る課題をテーマ発問として設定し、児童が本時の授業で何を学習していくか見通しを持てるようにする。また、課題意識を持たせ、自分のこととして授業に取り組めるようにする。
- 仮説1(2)教材提示の工夫・・・黒板シアターを用いて、黒板全体で「橋の上」を表現し、話の内容を理解しやすくする。さらに、話を聞きながら「優しい人を探す」ように指示し、やさしいとはどういうことか考えられるようにする。
- 仮説1(3)表情図の活用・・・いじわるをしているおおかみの気持ち(いたずらを楽しんでいる)が一年生の語彙ではなかなか表現できないため、表情図を選択させることで、気持ちに共感できるようにする。
- 仮説1(5)話し合い活動の工夫  
仮説2(3)話し合い時のノートの活用・・・「自分がおおかみさんだったら明日はどのような行動をとるか」考えさせ、自分の立場を明らかにする。さらに、お面をつけて、ペアで自分の考えを伝え合う場面を設定し、「なんで?」と相手に尋ねてもらうことで根拠が明らかになるようにした。

○仮説2(5)家庭との連携・・・ ノートを家庭に持ち帰り、おうちの方とともに話し合う場面を設定することで、児童の学んだことをおうちの方に知ってもらい、親子でねらいについて再度考える場面を設ける。

**本時の指導**

(1) ねらい

友達に優しくすることは、いじわるをすることよりもずっと気持ちが良いことに気付き、親切にするとどんなよいことがあるのか、自分と相手の立場から考えることができる。

(多面的・多角的に考える)

(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・ 予想される児童の反応	支援及び指導上の留意点 評価(※)	資料
導入	5	<p>1 価値への方向付け</p> <p>○みなさんが仲良くなりたいたいと思う友達はどんな人ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい人</li> <li>・困っている時に助けてくれる人</li> <li>・運動が得意な人</li> </ul> <p>○優しい人はどんな人のことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている時に助けてくれる。</li> <li>・一緒に遊んでくれる。</li> <li>・大丈夫と声をかけてくれる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>やさしくすると、どんなことがあるかな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切、思いやりという価値について、優しくするとどのようなことがあるのか、これから考えたいことの観点を明確に持たせる。</li> </ul>	
展開	3  27	<p>2 教材の提示</p> <p>黒板シアターを用いて「はしのうえのおおかみ」の内容を知る。</p> <p>○お話の中から優しい人を見つけましょう。</p> <p>3 教材「はしのうえのおおかみ」についての話し合い</p> <p>(2) ○優しい人は誰ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くまさん</li> <li>・おおかみさん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい人が誰なのか注目しながら話を聞くようにし、おおかみが優しいのかどうかという話し合いにつなげられるようにする。</li> <li>・おおかみが優しくなったかどうか話し合うことで、ただくまさんの真似をしているのではなく、優しくなったことに気付かせるようにする。</li> </ul>	黒板シアター  挿絵



	<p>(2) ○おおかみさんは、やさしくなったのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はいじわるしていたけど、最後は通してあげたから優しくなった。</li> <li>・いじわるしたからやさしくない。</li> </ul> <p>(8) ○おおかみさんになって「えへん。えへん。」と言った時の気持ちを考えてみよう。</p> <p>①通せんぼしたときの「えへん。えへん。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・王様になったみたいで楽しい。</li> <li>・いうこと聞くからえらくなったみたい。</li> <li>・楽しいな。</li> <li>・うさぎさんは困っていた。</li> <li>・ちょっとモヤモヤする。</li> </ul> <p>②うさぎさんに優しくした時の「えへん。えへん。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うさぎさんが笑ってくれて嬉しいな。</li> <li>・優しくするとすっきりする。</li> <li>・こっちのほうみんなにここに。</li> <li>・なんだか楽しいな。</li> </ul> <p>(10) ◎自分がおおかみだったら、次の日どうするかな。おおかみさんになって友達にお話してみよう。</p> <p>①これからはいじわるしないで優しくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こっちのほう仲よくなれる。</li> <li>・みんなにここに。</li> <li>・うさぎさんもうれしい。</li> <li>・自分もうれしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板シアターを用いることで、視覚的に話の内容がわかるようにするとともに、最初と最後のおおかみの気持ちが比較できるようにする。</li> <li>・役割演技を取り入れることで、児童が体験的におおかみの気持ちを共感できるようにする。また、役割演技に入り込めるような場の設定をし、自由に児童自身の言葉で語らせることでより心情が深まるようにする。</li> <li>・表情に注目しながら気持ちを想像させ、見ていた児童も気持ちが共感できるようにする。</li> <li>・最初も最後もおおかみは楽しんでいるのだが、優しくした方が、双方が嬉しい気持ちになることをおさえ、相手が喜んでくれる姿を見ることが、自分の喜びとなることに気付かせる。</li> <li>・黒板シアターを活用しながらそれぞれの場面におけるおおかみの気持ちを板書で整理し、児童が多角的に考えられるようにする。</li> <li>・お面をつけ、1人1人が自分の考えを伝えられるようにする。また、必ず理由を話すようにし、根拠をもって話せるようにする。</li> <li>・お面をつけておおかみさんをとおして発言することで、自分の本音が伝えやすくなるようにする。</li> </ul>	<p>表情図 お面</p> <p>お面</p>
--	---	---	-----------------------------

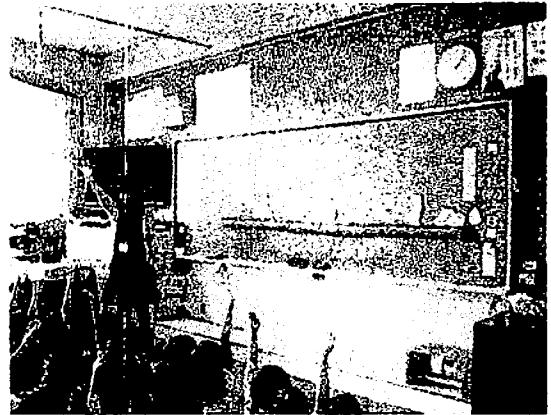
		<p>②またいじわるしてしまうかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじわるは楽しい。</li> <li>・偉くなったみたいで嬉しい。</li> </ul>		
	(5)	<p>○おおかみさんのように心が温くなるために、みんなができることは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に遊ぼうって声をかける。</li> <li>・誰とでも仲よくする。</li> <li>・困っている人がいたら助けてあげる。</li> <li>・大変だったら教えてあげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしくする」ということについて、自分ができることを考え、共有することで優しくすることの具体的な行動を知る。</li> </ul>	
終末	5	<p>4 価値の主體的自覚</p> <p>①優しくするとどんなことがあるかまとめる。</p> <p>○優しくすると、どんなよいがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と仲良くなれる。</li> <li>・みんなが笑顔になれる。</li> <li>・自分もうれしくなる。</li> <li>・相手もうれしくなる。</li> <li>・悲しい気持ちにならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しくすることのよさについて共感し、もっと優しくしたいと思えるようにする。</li> </ul>	道徳ノート
	5	<p>②今日の学習でわかったこと、これから気をつけたいことなどを振り返り、ノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに振り返りを書かせることで、親切に対する自分の考えをもてるようにする。</li> <li>・ノートに貼った表情図を用いて色を塗らせることで、感想が書けない児童も自分なりの考えが表現できるようにする。</li> </ul> <p>※友達に優しくすることは、いじわるをすることよりもずっと気持ちがよいことに気づき親切にするとどんなよいことがあるのか、自分と相手の立場から考えることができたか。(ノート)</p>	

## 授業の実際

○仮説1(1)発問の工夫①… テーマ発問を行うことで、「やさしい」ということについて考えることを共通理解でき、ねらいが明確になった。また、振り返りの時間に「やさしい」ことについて自分なりの考えを書くことができた。

### ○仮説1(2)教材提示の工夫

黒板シアターを活用し、黒板に挿絵を貼りながら範読を行っていくことで、児童が集中して話の内容を理解できるようにした。



### ○仮説1(3)表情図の活用

表情図を利用したことで、「うれしい」「たのしい」などの表現に限らず、「にやにやしている」「言うことを聞いてくれるから楽しい」など具体的な気持ちを表現することができた。



### ○仮説1(5)話し合い活動の工夫

#### 仮説2(3)話し合い時のノートの活用

全員がお面をつけて優しくすることのよさを話し合ったところ、自分の考えを全員が伝える場面を作る事ができた。さらに、「なんで？」と友達に尋ねる場面を設定したことで、自分なりの根拠を話すことができた。それが「やさしくすることのよさ」につながり、全体での話し合いにつながった。

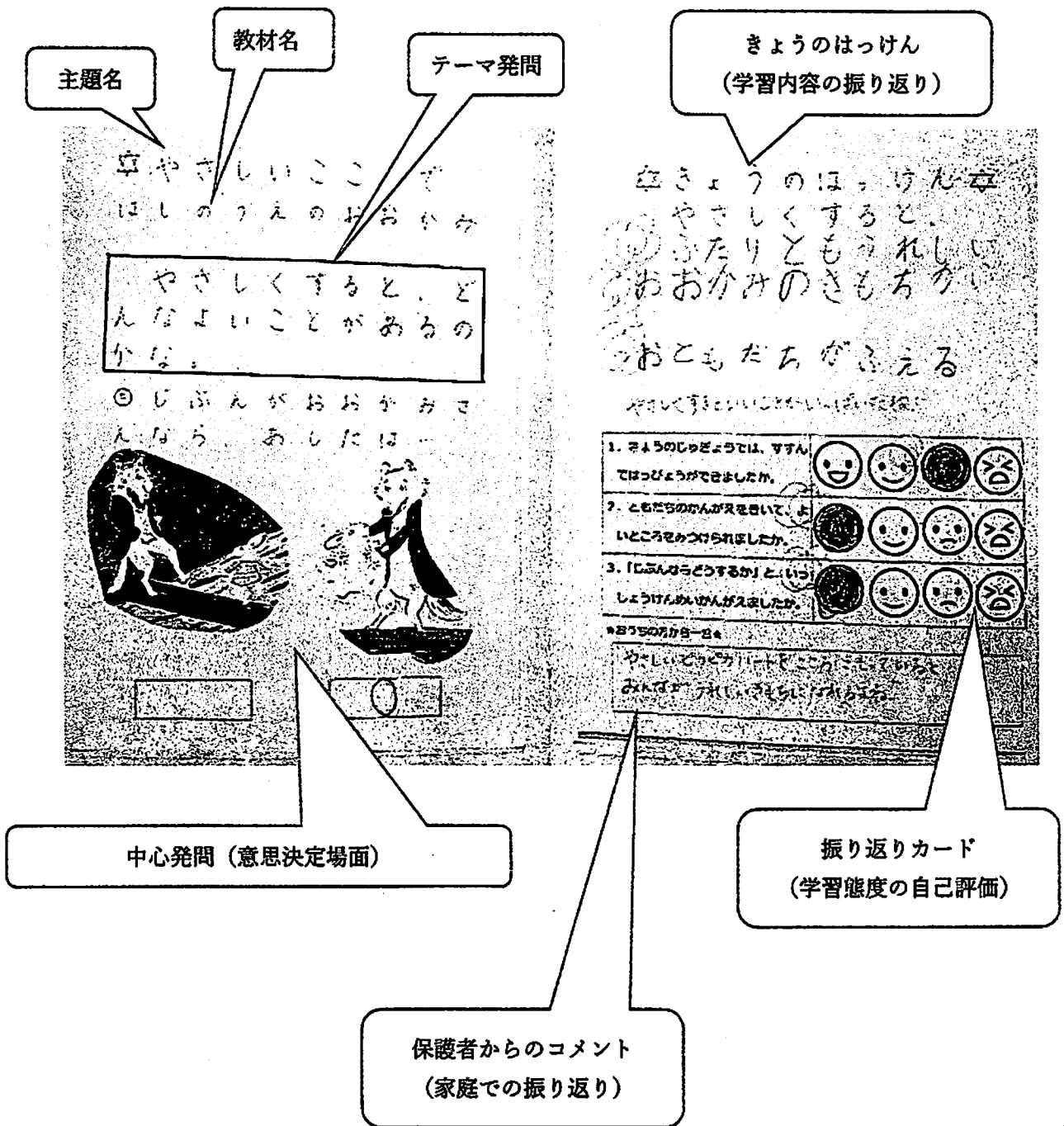
ぼくは、あしたやさしいおおかみさんになるよ。

どうして？

やさしくしたほうが、うれしいきもちになれるよ。

わたしもやさしくするよ。やさしくすると、おともだちがいっぱいできるよ。

○仮説2(5)家庭との連携・・・ノートを家庭に持ち帰ることで、学んだことを親子で振り返る場面を意図的に設定した。多くのおうちの方が児童に向けて、「このように育てほしい」という願いのこもったコメントを書いていた。



## 実践例 第1学年② (資料8ページ～)

主題名 友達と仲良く

内容項目名 友情, 信頼 ( B- (9) )

教材名「いっしょにかえろう」 出典「小学どうとく1 はばたこうあすへ」(教育出版)

教材について

みんなの仲間に入れずにいたなっちゃんに気づき、「いっしょにぶらんこであそぼう。」と声をかけた私。それ以降、私がお休みした時にはなっちゃんがお便りを届け、私が「一緒に帰ろう」と声をかけると、なっちゃんは「もちろん、いつもいっしょだよ。」と笑顔で返事をするというように、二人の友情が深まったという話である。助けたり、助けられたりしながら友達のよさを味わったり、楽しく遊んだりすることを通して、友情と学校生活を築いていく1年生には、実感しやすい教材である。児童にとって実生活を振り返りやすく、よくありそうな話でありながらも、実態としては、なかなか友達と仲良くできない児童も少なからずいる。終末の自己の生き方を見つめる時間をじっくりととり、友達と仲良く助け合うことのよさを教師と一緒に価値づけていきたい。

仮説との関わり

- 仮説1(1)発問の工夫①・・・「おともだちともっとなかよくなるにはどうしたらよいだろう」というねらいに迫る課題をテーマ発問として設定し、児童が本時の授業で何を学習していくか見通しを持てるようにする。また、自分のこととして授業に取り組めるようにする。
- 仮説1(3)表情図の活用・・・表情図を選択させることで、気持ちに共感させ、「うれしい」などしか言えない語彙の少ない子でも深く気持ちを考えることができるようにする。
- 仮説1(5)話し合い活動の工夫  
仮説2(3)話し合い時のノートの活用・・・「二人が仲良くなれたのはどうしてだろう」という、答えが一通りでない中心発問を行うことで、仲良くなるために大切なことが多面的・多角的に考えられるようにする。また、ペア学習でノートを持ち寄ることで話し合いの手立てとする。
- 仮説1(6)板書の工夫・・・登場人物のなかよし度が分かるように「仲良しの線」を利用する視覚的に、仲の深まりが見えるようにすることで、どうして仲良くなれたのかという問題意識を持てるようにする。

○仮説2(5)家庭との連携・・・ ノートを家庭に持ち帰り、おうちの方とともに話し合う場面を設定することで、児童の学んだことを保護者に知ってもらい、親子でねらいについて再度考える場面を設ける。

**本時の指導**

(1) ねらい

友達を助けたり、友達から助けられたりすることを通して、友達のよさや大切さに気づき、今後の生き方へつなげようとする意識を高める。 (自分の生き方に結びつけて考える)

(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・ 予想される児童の反応	支援及び指導上の留意点 評価(※)	資料
導入	3	<p>1 価値への方向付け</p> <p>○友達っていいなと思ったことはありますか。それはどんな時ですか。</p> <p>○今日はお友達ともっと仲良くなるにはどうしたらよいかみんなで考えていきます。</p>	<p>・小学生になって以前よりももっとたくさんの友達ができたことに気付かせ、友達のよさについて考えていくことを意識づける。</p>	
		<p>おともだちともっとなかよくなるにはどうしたらよいだらう。</p>		
展開		<p>2. 教材の提示</p> <p>黒板シアターを用いて「いっしょにかえろう」の内容を知る。</p> <p>○わたしとなっちゃんという女の子が出てきます。二人の気持ちを考えながら聞きましょう。</p>	<p>・黒板シアターを用いて視覚的に捉えられるようにするとともに、聞く視点を与えることで、内容を理解できるようにする。</p> <p>・話を読み進めながら発問を行っていくことで、場面場面の登場人物の気持ちを考えやすくする。</p>	挿絵

36	<p>3 教材「いっしょにかえろう」についての話し合い</p> <p>(8) ○なっちゃんに声をかけた時、私はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っているのかな。</li> <li>・なっちゃんと遊びたいな。</li> <li>・一人ぼっちでさみしそうだな。</li> </ul> <p>(8) ○なっちゃんがお便りを届けてくれた時、私はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優しくされてうれしいな。</li> <li>・なっちゃんありがとう。</li> <li>・なっちゃんともっと仲良くなりたいな。</li> </ul> <p>(5) ○なっちゃんと手をつないで帰った時、私はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達っていいな。</li> <li>・なっちゃんと仲良くなれてうれしいな。</li> <li>・ずっと仲良しでいたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なっちゃんが一人でさみしそうにしていることを、表情図を用いて確認する。</li> <li>・どうして声をかけたのか補助発問を行い、一人ぼっちの時に声をかけるのは優しい行為であることを押さえる。</li> <li>・友達を助けると、相手が喜んでくれることを確認する。</li> <li>・役割演技を取り入れることで、なっちゃんと私の声をかける前後の表情や気持ちをより想像できるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が困った時、友達が助けてくれると嬉しい気持ちになることを確認する。</li> <li>・なっちゃんに声をかけた場面を想起させ、友達は互いに支え合っていることに気付かせる。</li> <li>・声をかけた場面よりも、もつとなっちゃんを好きになり、仲良くなっていることを押さえる。</li> <li>・役割演技を取り入れることで、前の場面と逆の立場になった時の表情や気持ちをより想像できるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のころよりも表情も明るくなり、より仲良くなっていることを押さえる。</li> <li>・友達と仲良くすると、嬉しい気持ちになることを押さえ、友達の大切さを実感させる。</li> </ul>	<p>表情図 お面</p> <p>お面</p>
----	--	---	--------------------------------

	(10)	◎二人が仲良くなれたのはどうしてでしょう。 ・一人ぼっちの時に声をかけたから。 ・困っている時に助けたから。 ・一緒に遊んだから。 ・一緒に帰ったから。 ・二人とも友達に優しくしたから。	・二人がどんどん仲良くなっていった理由を考えていくことで、友達と関わる時に大切なことを考えさせる。 ・二人の行動を振り返り、二人とも友達に対して優しくし、助け合っていることに気付かせる。 ・自分の考えをもった後に、友達と交流することで様々な理由を考えられるようにする。	
	(5)	○友達ってどういう人でしょう。 ・大切な人 ・一緒に遊んでくれる人 ・困った時に助け合える	・導入で見つけた「ともだちっていいな」を想起させ、友達という存在の大切さについて話し合う。	
終末	6 (5)	4. 学習のまとめをする。 ①友達ともっと仲良くなるには、どうしたらよいでしょう。 ・一緒に遊ぶ ・一人ぼっちの時に声をかける。 ・やさしくする ・困った時に助ける。	・課題について自分なりの「大切なこと」をもち、全体で共有する。 ※友達を助けたり、友達から助けられたりすることを通して、友達のよさや大切さに気づき、今後の生き方へつなげようとする意識を高めることができたか。 (ノート)	どうとくノート
	(1)	②今日の学習の振り返りを行う。		

### 授業の実際

○仮説1(1)発問の工夫①・・・「おともだちともっとなかよくなるにはどうしたらよいだろう」というねらいに迫る課題をテーマ発問として設定したことで、本時のねらいが明確となり、振り返りまでつながる課題となった。





○仮説 1(3)表情図の活用・・・表情図を選択させることで、気持ちに共感させ、「うれしい」などしか言えない語彙の少ない子どもでもどういう嬉しさなのか選択し、他の児童が言葉で補うことができた。(資料 18 ページ～)



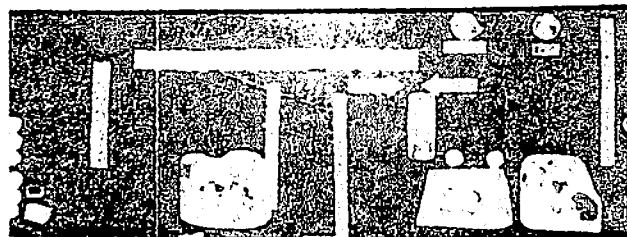
○仮説 1(5)話し合い活動の工夫

仮説 2(3)話し合い時のノートの活用・・・「二人が仲良くなれたのはどうしてだろう」という答えが一通りでない中心発問を行うことで、仲良くなるために大切なことについて自分なりの考えを持つことができた。また、それを全体で共有することで多面的に考えられた。また、ペア学習でノートを持ち寄る姿が見られた。



○仮説 1(6)板書の工夫

登場人物のなかよし度が分かるように「仲良しの線」を利用する。視覚的に、仲の深まりが児童にもわかり、話の内容を理解することができた。



○仮説 2(5)家庭との連携・・・ノートを家庭に持ち帰り、おうちの方とともに話し合う場面を設定することで、児童の学んだことをおうちの方に知ってもらい、親子でねらいについて再度考えることができた。

(資料 22 ページ)



5 児童の変容

①A児・・・A児は特別支援学級（知的）に在籍し、通常級で学習している児童である。他教科では、理解にどうしても時間がかかってしまうため、挙手発言はほとんどなく、ぼーっとしてしまうことも多い。道徳の授業を繰り返すうち、「表情図」を選んだり、役割演技をしたりと活躍できる場面が多くなり、自信が持てるようになった。4月当初はほとんど発表がなかったが、道徳では発問に対して全てに挙手するなど意欲的な態度が見られるようになった。

②B児・・・とても賢く理解力があるが、友達の気持ちを理解するまでに少し時間のかかる児童である。「どうして泣いているの？」などわからないことはすぐ口にして聞き、言葉で説明するとすぐに納得することができる。道徳科の授業では積極的に挙手し、発表を行っている。保護者もとても協力的でノートを持ち帰った時には、振り返りの時間を充分にとり、コメントも欄にぎっしりと書いてくれている。  
本人のアンケートを見たところ、おうちの人にコメントをもらうことをとても楽しみにしていることがわかった。また、以前おうちの人と話したことを、その後の「きょうのはっけん」で書くなど、おうちの人との会話がB児の意欲をさらに高めていた。

【はしのうえのおかみのふりかえり】

【いっしょにかえろうのふりかえり】

☆きょうのはっけん☆  
やさしくすると、  
やさしくしたあいても  
おかしさをするかも  
れないから、ホィアと、  
かもしれなね。

よいこと、てはがっていくんだね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすんでほっしょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえを言いたいところをみつけられましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」と、いっしょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★  
やさしくしたあいてからすかにおかえしかなことあるけれど、おうちの人に話しかけてみるのが、ほからやさしくして、すかにおかえしかなこと、いろいろあるよとやさしくしてあげるといいわ。



☆きょうのはっけん☆  
やさしくしてかえっ  
てまたやさしくし  
てまたかえってくるの  
をくりかえしていくう  
ちになかよくなっくる  
のがわがりました。  
いっしょにあそぶのも  
なかよくできそうです。  
やさしいのだからほっしょうがくしげうしなふくはあそびにたいせつ  
だね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすんでほっしょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえを言いて、よいところをみつけられましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」と、いっしょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★  
おうちの人に話しかけて、やさしくしてかえっくるの、おうちの人に話しかけてみるのが、ほからやさしくして、すかにおかえしかなこと、いろいろあるよとやさしくしてあげるといいわ。

【保護者のアンケートより】

- 3 道徳の学習後や親子での振り返り後に、お子さんの様子に変化はみられましたか。  
変化があった) 変化はなかった

どのような変化がありましたか(ものを大事にするようになった、お手伝いをするようになった等・・・)  
・友達に声をかけられるようになった。少しものを大事にするようになった。  
・友達の考えの良い所を見つけた。友達と意見を聞こうとした。  
・前に振り返りで話した内容を自分なりに理解して、その後の道徳の授業での自分の意見に生かしていた。

- 4 お子さんと道徳の学習について振り返りを行った時のエピソードなどあれば教えてください。

「やさしくするとやさしくした相手からも返ってくる」という本々の考えをうけて、  
「やさしくするとやさしくした相手がまた他の人にもやさしくして、めでためでたて自分に返ってくる」という内容を図をわかって説明したら、そのうち身もめるのかととても驚いた表情をして「知らなかった」としても見えた。わかった」と少し興奮気味にうれしそうに話してくれました。

## 6 成果と課題

### <成果>

○低学年の児童は、教材の内容を理解するまでに時間がかかりがちであるが、黒板シアターを行い、板書を視覚的なヒントとして活用したり、表情図をつかったりすることで、教材の理解にかける時間を少なくし、ねらいについて考える時間を確保することにつながった。さらに、黒板シアターにしたことで、児童が話を聞くのが楽しみになり、道徳が好きになるきっかけとなっていた。アンケートの結果からも意欲が高まるきっかけになっていることがわかった。

(自ら意欲的に考える)

○全ての授業でテーマ発問を行った。導入の場面で本時のねらいを共通理解し、振り返りのときにはテーマ発問について関連した振り返りを行うことができた。ねらいについて、全員が自分なりの考えを書くことができた。

(考えたことをノートに表現する)

○全体での話し合いの前にペア学習を取り入れるなど、全員が発言できる機会を意図的に作った。また、「おしえてあげよう」や「もし自分なら」など児童が発言したくなるような発問を意図的に行った。初めは伝えられない児童もいたが、徐々に自分の考えを伝え、友達の違う考えに「なるほど」と頷く場面が見られるようになってきた。

(友達の意見を受け入れながら考えを伝え合う)

○道徳ノートを家に持ち帰り、おうちの人と振り返りを行う時間を設けた。親の願いを子どもに伝えるよい機会になったとアンケートで回答した保護者が多数いた。また、児童もおうちの人からのコメントを楽しみにしており、その後の生活や授業につながっている姿が見られた。

(自ら意欲的に価値について考える。考えたことを伝える。)

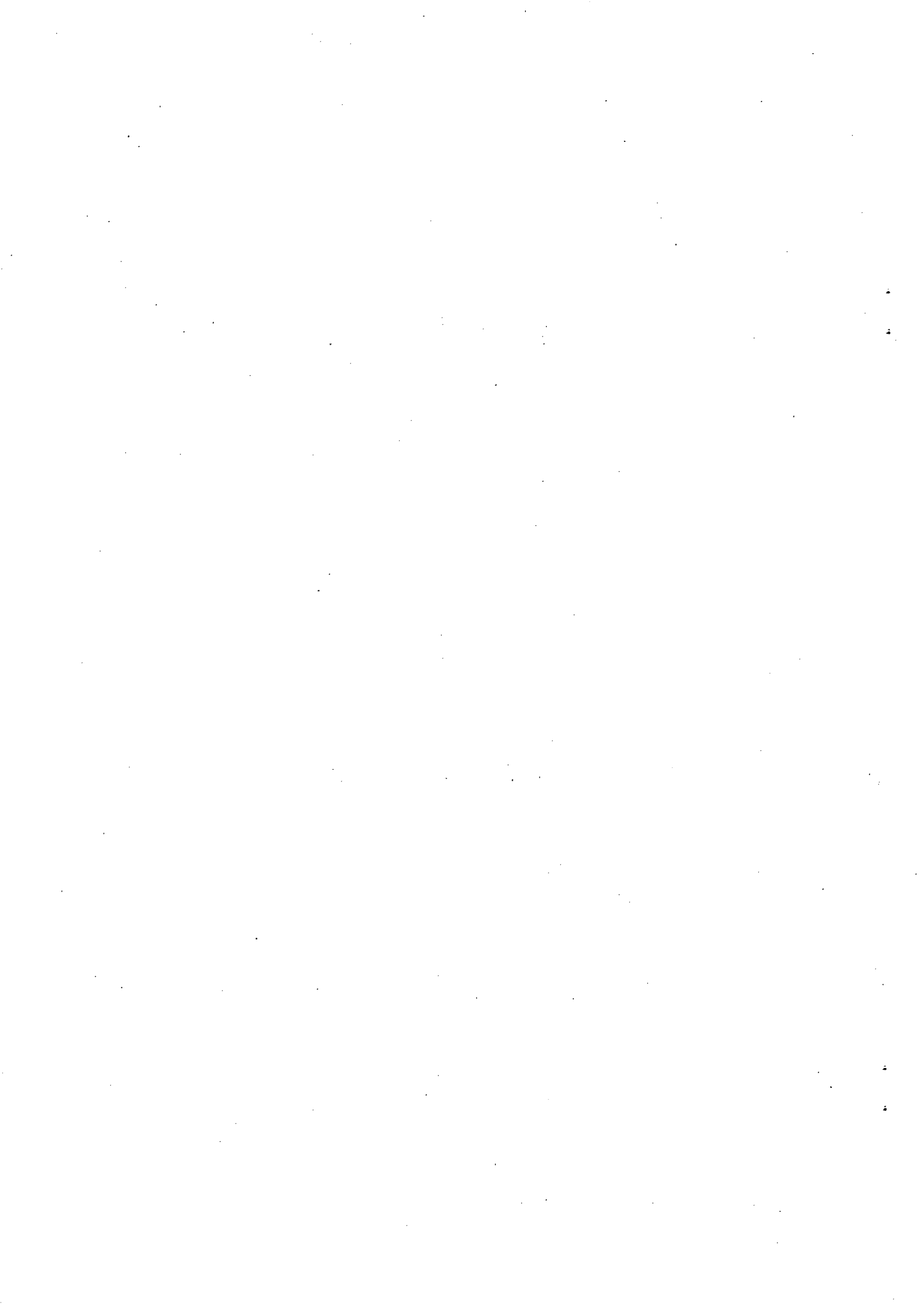
### <課題>

▲1年生にとっては「書く」という作業そのものに時間がかかってしまった。また、書きたいことが文章にできない場面も多く見られた。書くだけでなく、積極的に話させる場面設定が必要だと感じた。

▲話し合い活動では、教材から少し離れた価値に関わることを中心発問としたため、1年生の児童には少し難しさがあつた。発問の意図が理解できない児童もいた。

▲家での振り返りは家庭によって差が大きかった。一言も書いてもらえない児童もおり、その分のサポートが必要であった。また、家で、授業の内容を伝えてからコメントをもらうのだが、授業の内容が上手く伝えられず、困ってしまう家庭もいくつかあつた。そのため、教師がコメントを多く書くなど、家庭での振り返りができない児童へのフォローが必要であった。

# 資料



## 実践例 第1学年③

主題名 いつもすなおに

内容項目名 正直, 誠実 ( A- (2) )

教材名 「くまさんのおちやかい」 出典 「小学校どうとく1 はばたこうあすへ」 (教育出版)

資料について

本教材は、お茶会をしようとしていたくまさんのポスターに、さるさんがもっと豪華にしようとして絵を付け足した結果、来たお客さんに誤解をさせてしまい、くまさんやお客さんを傷つけてしまうというお話である。よいことをしようとして、思わず相手を傷つけてしまうことは児童の生活の中でも起こり得ることであり、その立場であるさるさんの迷っている気持ちに共感することで正直に言うことの良さやうそをついた時のモヤモヤ感を想像しやすくなっている。その後どうしたかについては、話の中には書かれていないため、その後どういう行動をとることがよりよい行動につながるのか考え、議論することが有効な教材である。

また、掲示されたポスターに事実ではないことを書くと間違った情報が伝わってしまうことから、情報モラルについても考えることのできる教材となっている。

仮説との関わり

○仮説1(1)発問の工夫①・・・「おさるさんにおしえてあげよう」という課題をテーマ発問として設定し、児童が「おさるさんを助けるためにどうしたらよいか」自分のこととして考えることを共通理解した上で授業に取り組めるようにする。

○仮説1(5)話し合い活動の工夫

仮説2(3)話し合い時のノート活用の活用・・・だまっていたとき、素直に謝ったとき、それぞれの気持ちを考えさせることで、葛藤場面においてよりよい判断ができるようにする。

○仮説1(6)板書の工夫・・・葛藤が視覚的に分かるよう、色分けした吹き出しを使うことでそれぞれの良い点悪い点が板書で整理されるようにしていく。

○仮説2(5)家庭との連携・・・ノートを家庭に持ち帰り、おうちの方とともに話し合う場面を設定することで、児童の学んだことをおうちの方に知ってもらい、親子でねらいについて再度考える場面を設ける

本時の指導

(1) ねらい

みんなが笑顔になるために、正直な行動が大切なことに気づき、素直な明るい心でのびのびと生活しようとする態度を養う。

(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・ 予想される児童の反応	支援及び指導上の留意点 評価(※)	資料
導入	5	<p>1 価値への方向付け</p> <p>○「うそをついちゃいけない」と言われるけど、うそをついてしまうのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌われるから。</li> <li>・怒られるから。</li> </ul> <p>○今日は本当のことが言えなくて困っているさるさんがでできます。みんなでどうしたらよいか教えてあげましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>みんながえがおになるために、どうしたらよいか、さるさんにおしえてあげよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「うそをついてはいけない」とわかっているけど、本当のことがいえないことがあるという人間的な弱さを共感させる。</li> <li>・挿絵の表情を見せ、みんなが笑顔になるためにはどうしたらよいか、本時の学習課題を知る。</li> </ul>	挿絵
展開	3	<p>2 教材の提示</p> <p>黒板シアターを用いて「くまさんのおちゃかい」の内容を知る。</p> <p>○さるさんの気持ちを考えながら聞きましょう。</p> <p>3 教材「くまさんのおちゃかい」についての話し合い</p> <p>3</p> <p>○さるさんはどんな気持ちで紙いっぱいに絵を描いたのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとごうかにしてあげよう。</li> <li>・くまさんおおちゃかいにいっぱいきてほしいな。</li> <li>・よろこんでくれるといいな。</li> <li>・よろこばせたい。</li> </ul> <p>○下を向いたさるさんは、どんなことを考えているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしよう。こわいな。</li> <li>・よろこばせようとおもったのにな。</li> <li>・あやまったほうがいいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板シアターを用いて視覚的に捉えられるようにするとともに、聞く視点を与えることで、内容が理解できるようにする。</li> <li>・よいことをしていると信じているさるさんの気持ちに共感させることで、迷っている場面が深まるようにする。</li> <li>・ポスターに絵を描いている場面の気持ちを思い出させることで、正直に言いづらいということを共感させる。</li> </ul>	挿絵  表情図  表情図



		<p>◎みんながさるさんだったら、この後どうしますか。その理由を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直に話す。</li> <li>・言えないかもしれない。</li> </ul> <p>5 ①ノートに自分の考えをかく。</p> <p>5 ②ペアで相談して考える。</p> <p>10. ③全体で深める。</p> <p>〈正直に謝ったとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くまさんもたぬきさんもゆるしてくれるよ。</li> <li>・こわいけどいうとすっきりするよ。</li> <li>・みんながにこにこになるよ。</li> <li>・さるさんもおちゃかいがたのしくなるよ。</li> </ul> <p>〈ずっとだまっていたとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さるさんのところがもやもやしてたのしめないよ。</li> <li>・くまさんとたぬきさんたちもずっといやな気持ちだよ。</li> </ul> <p>○本当にそのような気持ちになるのか役割演技で確かめてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直に言ったらすっきりしたよ。</li> <li>・迷っている時はモヤモヤした。</li> <li>・顔が暗かったのがにっこりしたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正直に言った時とうそをついた時のどちらも想像させることで、道徳的判断力を養うようにする。</li> <li>・板書を色分けすることで、その後の行動や気持ちを整理し、児童が多角的に考えられるようにする。</li> <li>・正直に話した時のよさを考えさせることで、価値について考える事ができるようにする。</li> <li>・正直な行動をとったときの方が自分も周囲も笑顔になれることを確認する。</li> </ul> <p>・役割演技をとおして、実際にどのように行動すればよいのかを考える場を設定する。</p> <p>・場の設定をし、自由に発言させることでより心情が深まるようにする。</p>	<p>どうとくノート</p> <p>おめん 場面絵</p>
終末	3	<p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>①さるさんにどんなことを教えてあげたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直に言う心がすっきりするよ。</li> <li>・ちゃんと話した方がなかよしになれるよ。</li> <li>・みんなが笑顔になるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について自分なりの「大切なこと」をもち、全体で共有する。</li> </ul>	<p>どうとくノート</p>

3	②今日の学習でわかったこと、これから気をつけたいことなどを感想に書き、発表する。	※みんなが笑顔で生活するためには、誠実な行動をとることがたいせつであることに気づくことができたか。(振り返り・発表)	
---	--	--	--

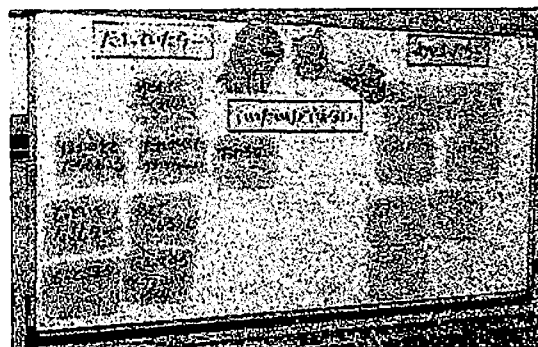
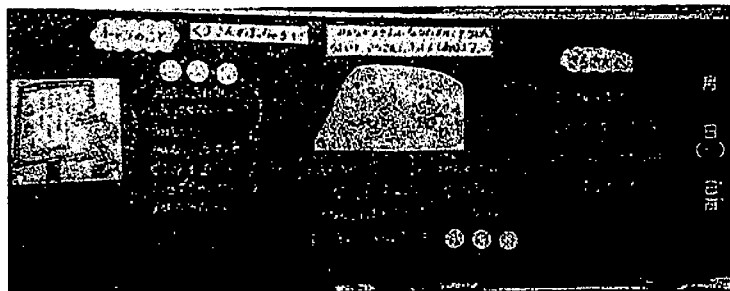
## 5 授業の実際

○仮説1(1)発問の工夫①・・・「おさるさんにおしえてあげよう」という課題をテーマ発問として設定したことで、児童が「おさるさんを助けるためにどうしたらよいか」自分の言葉で説明することができた。教えてあげるためにはなぜそうするとよいのか理由が必要であり、根拠を持った話し合いができた。

○仮説1(5)話し合い活動の工夫

仮説2(3)話し合い時のノート活用の活用・・・自分の立場を明らかにすることで、ペアでの話し合いが深まった。

○仮説1(6)板書の工夫・・・葛藤が視覚的に分かるよう、色分けした吹き出しを使うことでそれぞれの良い点悪い点が板書で整理されるようにした。そのため、友達の意見をきいて自分にはなかった意見に「そういうことか」と納得する様子が見られた。



○仮説2(5)家庭との連携・・・ノートを家庭に持ち帰り、おうちの方とともに話し合う場面を設定することで、児童の学んだことをおうちの方に知ってもらい、親子でねらいについて再度考える場面を設ける

# ★児童のノート

## <実践例①はしのうえのおおかみ>

主題名  
教材名  
テーマ発問

☆やさしいことで  
 はしのうえのおおかみ

やさしくすると、と  
 んなよいことがあるの  
 かな。

◎しぶんがらおおかみさ  
 んはら、あしたは...




中心発問 (意思決定場面)

きょうのはっけん  
 (学習内容の振り返り)

きょうのはっけん  
 やさしくすると、と  
 んなたりともうれし  
 い  
 おおかみのさもあ  
 ら  
 おともだちがえ  
 る

1. きょうのじゆぎょうでは、すん  
 てはっぴょうができましたか。

2. ともだちのかんがえを聞いて、よ  
 いところをみつづけられましたか。

3. 「しぶんがらどうするか」といっ  
 しょうけんがいゆんがえましたか。

\*どうちのなかから\*  
 やさしいとってかたはとこにいていて  
 んなはと、うたいていさうにたのしみ

振り返りカード  
 (学習態度の自己評価)

保護者からのコメント  
 (家庭での振り返り)

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、  
あいてもうれしくなる。  
ふたりともうれしくなる。  
おおかみのきもち  
がいい。

やさしくするといいいことがたくさんあるね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、 ではっぴょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」といっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

やさしくすると、じぶんにもやさしくなれます。  
やさしくされて、いやなきもちにならなくていい  
です。

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、  
ふたりともうれしい  
ゆずをあげる  
あいてゆずをあげる  
やさしくなる

ゆず、というやさしいことがみつけれられたね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、 ではっぴょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。	<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」といっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

たくさんのお話を聞いて、やさしくしてたくさんのお  
話のお話を聞けるといいね。

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、う  
れしくなる。きもちが  
いい。

やさしくするといいいことがいっぱいあるね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、 ではっぴょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」といっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

ひとにやさしくすると、やさしくされたひとのきもちが  
やさしくされたひとのきもちが、いいよ。

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、  
やさしくすると、  
いいことがもてるよ。

やさしくするといいいことがたくさんあるね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、 ではっぴょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」といっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

ひとにやさしくすると、たくさんのお話を聞いて、  
たくさんのお話を聞けるといいよ。

鈴木

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、  
いいことがあるよ。  
ふたりのこころが  
ほかになる。

みんなのこころがほかほかになたらすてきたね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすんで はっぴょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけれましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

やさしくする気持ちを大切にしてください。  
みんながうれしいです。

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、  
いいことがもどてく  
る。  
ふたりともうれしい。

やさしくすると  
いいことがみんなにもひろがっていくね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすん ではっぴょうができましたか。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけれましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

やさしくすることがみんなにいいこととわかるといいね。  
ありがとうみんなにやさしくして、やさしくしてもらって  
「か」がてう、ていおうね。

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、  
ふたりともうれしくなるよ。  
ふたりともうれしく  
なる。やさしくすると  
みんなのきもちがよ  
くなるよ。 みんながうれしいきもちに  
なるんだね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすん ではっぴょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけれましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

みんながうれしいよ。

☆きょうのはっけん☆

やさしくすると、  
うれしくなるよ。

うれしいきもちがすてきたね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすん ではっぴょうができましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけれましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

★おうちの方から一言★

やさしくして、よくしてもらえよ。  
じぶんもうれしくなよ。

<実践例②いっしょにかえろう>

主題名

教材名

テーマ発問

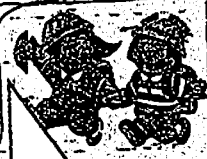
きょうのはっけん  
(学習内容の振り返り)

☆ともだちとなかよく  
いっしょにかえろう。

◎おともだちともっ  
なかがよくなるにはほ  
うしたらよいだろう。

◎ふたりがなかよくな  
れたのはどうしてに  
なろう？

◎ともだちになれて  
うれしいな。  
ふたりでいっしょに  
かえろう  
うれしいな。



☆きょうのはっけん☆  
◎やさしいことをは  
げんしたよ。  
◎やさしいふたりがた  
のしくなれたことをは  
げんしたよ。やさしいふたり  
きょうはなかよくはげんしたよ。

1. きょうのじょうぶでは、すん ではっぴょうができましたか。	😊😊😞😡
2. ともだちのかんがえを聞いて、よ いところをみつけれましたか。	😊😊😞😡
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいゆんがえしましたか。	😊😊😞😡

★おうちの方から一言★  
ひくにやさしくできるところになってほしい。  
おともだちやおはなすじやないひとにもやさしいまごいねを  
はげんしてほしいな。こもいさる。

中心発問 (意思決定場面)

振り返りカード  
(学習態度の自己評価)

保護者からのコメント  
(家庭での振り返り)

☆キョウのほ、けん☆  
とやさしくおわり  
たいね。

それならもっとおともだちがほえそう  
ですね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすん ではっぴょうができましたか。				
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。				
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。				

★おうちの方から一言★

がともだちにやさしくできるの、とてもだね。

してもらったありがとうもだいじなんだね!

☆キョウのほ、けん☆  
ゆずりあいの  
しものをひろ、た  
なっちゃんがありがあ  
うたらなかなよくなる。

1. きょうのじゅぎょうでは、すすん ではっぴょうができましたか。				
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。				
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。				

★おうちの方から一言★

おともだちの気持ちも考えられるよになっだね!!

☆キョウのほ、けん☆  
いっぱいあそびたい。  
たすけあつたり。やさ  
しいかたが、そいくの  
やさしいおやりのからの  
おんげりかたがよしだか  
ら。も、とも、とやさ  
しくする。やさしいかたがいてい  
ともだちでしてね!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすん ではっぴょうができましたか。				
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。				
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。				

★おうちの方から一言★

やさしいところがあつたりしてうれしくて。  
みんなのきこえがわかるようにしてね!!

☆キョウのほ、けん☆  
いっしょにまじりあ  
いをするとも、となか  
よくなる。も、といっ  
しょにあそぶとも、と  
も、となかよくなる。  
たすけあいをすると  
も、とも、となかよくな  
れる!!

1. きょうのじゅぎょうでは、すすん ではっぴょうができましたか。				
2. ともだちのかんがえをきいて、よ いところをみつけられましたか。				
3. 「じぶんならどうするか」と、いっ しょうけんめいかんがえしましたか。				

★おうちの方から一言★

みんなのきこえがわかるようにしてね!!









<その他の教材>

☆たいせつにつかう  
ものやおかねをたいせつに

ものがよろこぶつか  
いかたをかんがえよう

◎どちらのつかいかた  
がすてきかな。



( ) (0)

☆きょうのは、けん☆  
わたしは、なまえを  
かくのをわかったよ。  
わたしは、こわれても  
ちいさくなるまでつか  
う。

きょうのじゅぎょうでは、すすん  
ではびょうがで書きましたか。

2. ともだちのかんがえを聞いて、  
いところをみつけれましたか。

3. 「じぶんならどうするか」といっ  
しょうけんめいかんがえしましたか。

★おうちの方から一言★  
ものを大切に使うことは、とてもたい  
じなことです。ちいさくなくて、またまたた  
くさんつかえます。

☆たいせつにつかう  
ものやおかねをたいせつに

ものがよろこぶつか  
いかたをかんがえよう

◎どちらのつかいかた  
がすてきかな。



( ) (0)

☆きょうのは、けん☆  
なくほらなないように  
なまえをかく。  
うらでばこにけしきお  
かんぴつをちゃんとしま  
う。

きょうのじゅぎょうでは、すすん  
ではびょうがで書きましたか。

2. ともだちのかんがえを聞いて、  
いところをみつけれましたか。

3. 「じぶんならどうするか」といっ  
しょうけんめいかんがえしましたか。

★おうちの方から一言★  
ものを大切に使うことは、とてもたい  
じなことです。ちいさくなくて、またまたた  
くさんつかえます。

## <児童アンケート結果>

1. 道徳の勉強は好きですか。

好き…18人　まあまあ好き…2人　あまり好きではない…0人　きらい…0人

2. 授業中、進んで発表したり、友達と話したりすることができますか。

発表・伝え合い（ペア）ができる…11人　発表はできる…4人  
伝え合い（ペア）ができる…5人　どちらもできない…0人

3. 友達の考えを聞いて、よいところを見つける事ができますか。

できる12…人　まあまあできる…8人　あまりできない…0人　できない…0人

4. 授業中、自分ならどうするかを一生懸命考えていますか。

よく考えている16人　まあまあ考えている3人　あまり考えない1人　考えない0人

5. ノートを持ち帰ったとき、おうちの人に勉強したことをお話していますか。

必ずしている…17人　たまにしている…1人  
あまりしていない…2人　ぜんぜんしていない…0人

6. おうちの人に道徳のお話をしたとき、どんなことを思いますか。

- ・嬉しい。
- ・ママも「頑張ってるね」って思ってくれるかなと思った。
- ・頭がよくなってるかなと思った。
- ・話すのって楽しいな。
- ・もっと話したいな。
- ・いい気持ち。
- ・ママが聞いてくれて嬉しい。
- ・喜んでくれるかな。
- ・大切な勉強だと思った。
- ・どんなことを勉強したか話すと、「すごいね」と言われるから嬉しい。
- ・楽しい
- ・ママが嬉しいかな。

7. 道徳のお勉強で、楽しいと思うのはどんな時ですか。

- ・黒板を見ながらお話を聞いているとき…18人
- ・お面をかぶって役割演技をするとき…15人
- ・友達とペアを作って考えを伝え合っているとき…18人
- ・発表するとき…12人

- ・ノートに自分の考えを書いているとき…16人
- ・ノートに今日のはっけんを書くとき…15人
- ・振り返りをするとき…12人
- ・おうちの人に勉強したことを話すとき…17人
- ・先生からのコメントを見るとき…16人
- ・表情図を使うとき…16人

8. 道徳のお勉強で、わかったと思うのはどんな時ですか。

- ・黒板を見ながらお話を聞いているとき…15人
- ・お面をかぶって役割演技をするとき…14人
- ・友達とペアを作って考えを伝え合っているとき…12人
- ・発表するとき…11人
- ・ノートに自分の考えを書いていると…14人
- ・ノートに今日のはっけんを書くとき…12人
- ・振り返りをするとき…13人
- ・おうちの人に勉強したことを話すとき…13人
- ・先生からのコメントを見るとき…16人
- ・表情図を使うとき…14人

9. 道徳のお勉強で、頑張りたいと思うのはどんな時ですか。

- ・黒板を見ながらお話を聞いているとき…10人
- ・お面をかぶって役割演技をするとき…15人
- ・友達とペアを作って考えを伝え合っているとき…15人
- ・発表するとき…14人
- ・ノートに自分の考えを書いているとき…12人
- ・ノートに今日のはっけんを書くとき…14人
- ・振り返りをするとき…14人
- ・おうちの人に勉強したことを話すとき…12人
- ・先生からのコメントを見るとき…14人
- ・表情図を使うとき…13人

10. 道徳でお勉強したことを、生活の中で思い出すときはありますか。

ある…11人　　ない…9人

(どんなときですか)

- ・パパに言われたとき　　・お手伝いをしたとき
- ・道徳で勉強したことを頑張っているとき
- ・友達と仲良く遊んだとき
- ・ルールを守ろうとしている

## <保護者アンケート> (回答18名)

1. お子さんは、家で道徳の授業で学んだことを積極的に伝えていきますか。  
 積極的に伝えている…1名 宿題なので伝える…3名  
 声をかければ伝える…12名 全く伝えようとしらない…2名
2. 道徳で学んだことをおうちの人と話すことは、子どもたちの道徳性を育てるうえで、おうちの方の思いを伝えるよい機会になっていますか。  
 とてもあてはまる…4人 まあまああてはまる…10人  
 あまりあてはまらない…4人 全くあてはまらない…0人
3. 道徳の学習後や親子での振り返り後に、お子さんの様子に変化は見られましたか。  
 変化があった…13人 変化はなかった…5人

変化があった

変化はなかった

どのような変化がありましたか(ものを大事にするようになった、お手伝いをするようになった等・・・)  
 「消しゴムなくしてごめんね」と、Tは、Tよにかなくした時に  
 あやまるようにTは、T。

変化があった

変化はなかった

どのような変化がありましたか(ものを大事にするようになった、お手伝いをするようになった等・・・)  
 おうちのおそうじ、自分たちで使う部屋の片付けをしてくれました。  
 これからも頑張る、いつもありがとうとありがとうをもらいました。

変化があった

変化はなかった

どのような変化がありましたか(ものを大事にするようになった、お手伝いをするようになった等・・・)  
 せまが本物を乱暴に使っていたら、理由もちゃんと説明して  
 注意していた。

変化があった

変化はなかった

どのような変化がありましたか(ものを大事にするようになった、お手伝いをするようになった等・・・)  
 「だれかが」かなしんでいる時Tは、自分から相手に優しく  
 声をかけてあげられる。  
 「学校で、こう教わったよ」と、伝えてくれる。

変化があった

変化はなかった

どのような変化がありましたか(ものを大事にするようになった、お手伝いをするようになった等・・・)

- 友達に声をかけられるようになった。
- 少しものを大事にするようになった。
- 友達の考えの良い所を見つけようと、友達の発表も聞くようになった。
- 前に振り返りで話した内容を自分なりに理解して、その後の道徳の授業での自分の発見に生かされていた。

変化があった

変化はなかった

どのような変化がありましたか(ものを大事にするようになった、お手伝いをするようになった等・・・)

えんぴつをたいせつに扱って使っています。

またまたおぐに生活に活用？できてないことも

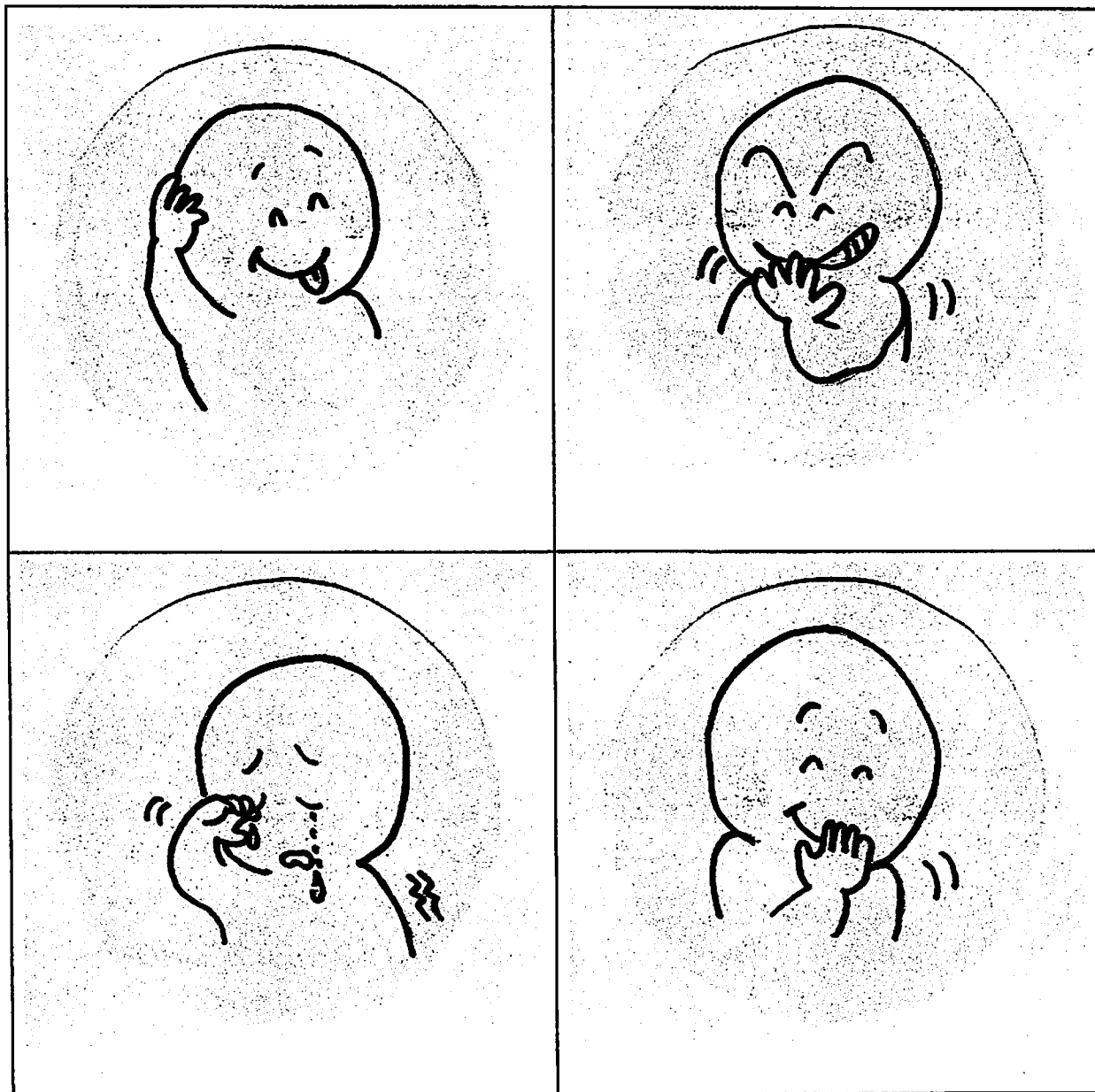
おおいですが、しかし自分ご考えたり、自分でできることが増える  
といいなと使っています。

- 4 お子さんと道徳の学習について振り返りを行った時のエピソードなどがあれば教えてください。

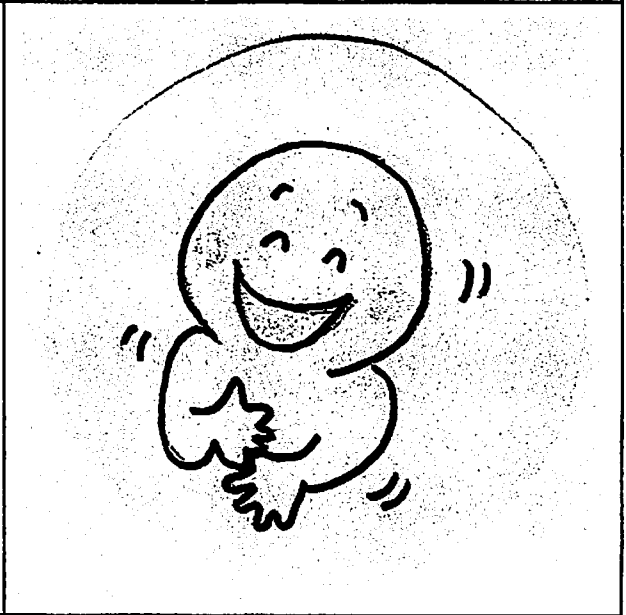
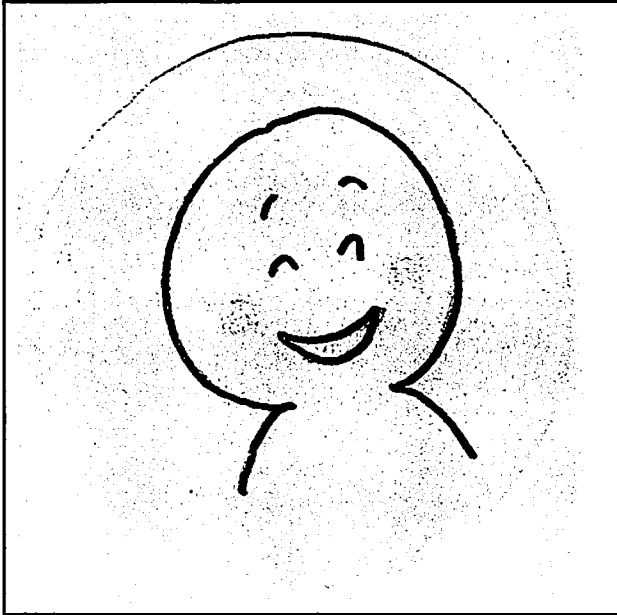
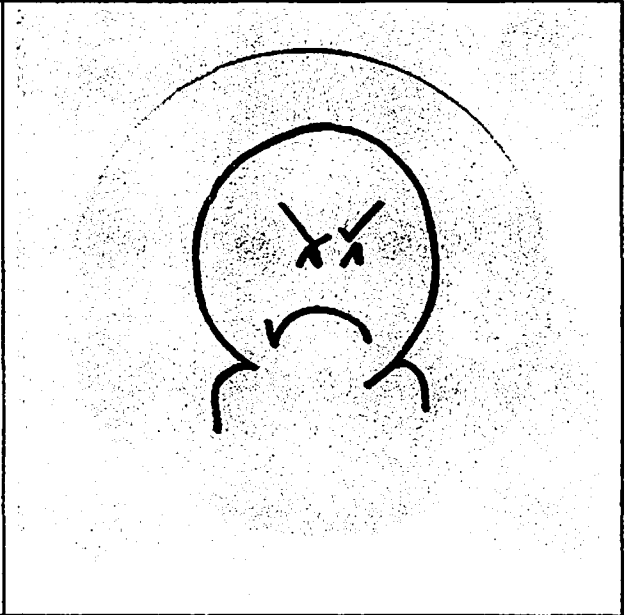
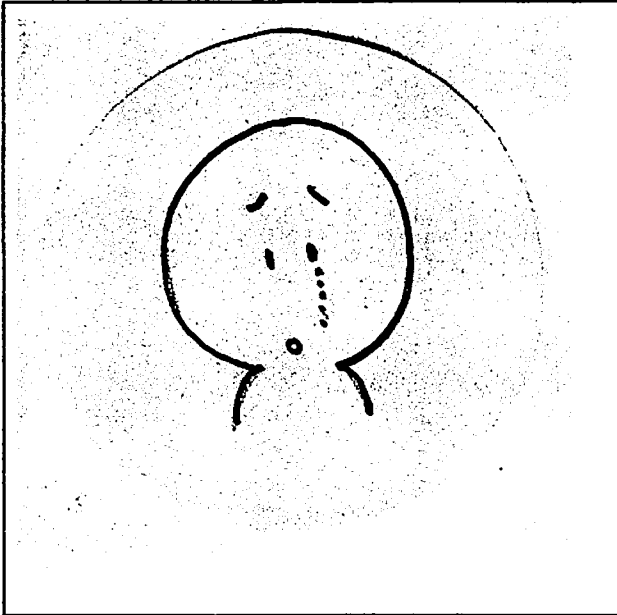
「やさしくするとやさしくした相手からも返ってくる」という本人の考えをうけて、  
「やさしくするとやさしくした相手がまた他の人にやさしくして、めぐりめぐって自分に返ってくる」という内容を図をつかって説明したら、そういう事もあるのかととても驚いた表情をして、「知らなかった」「とても良くわかった」と少し興奮気味に、うれしそうに話してくれました。

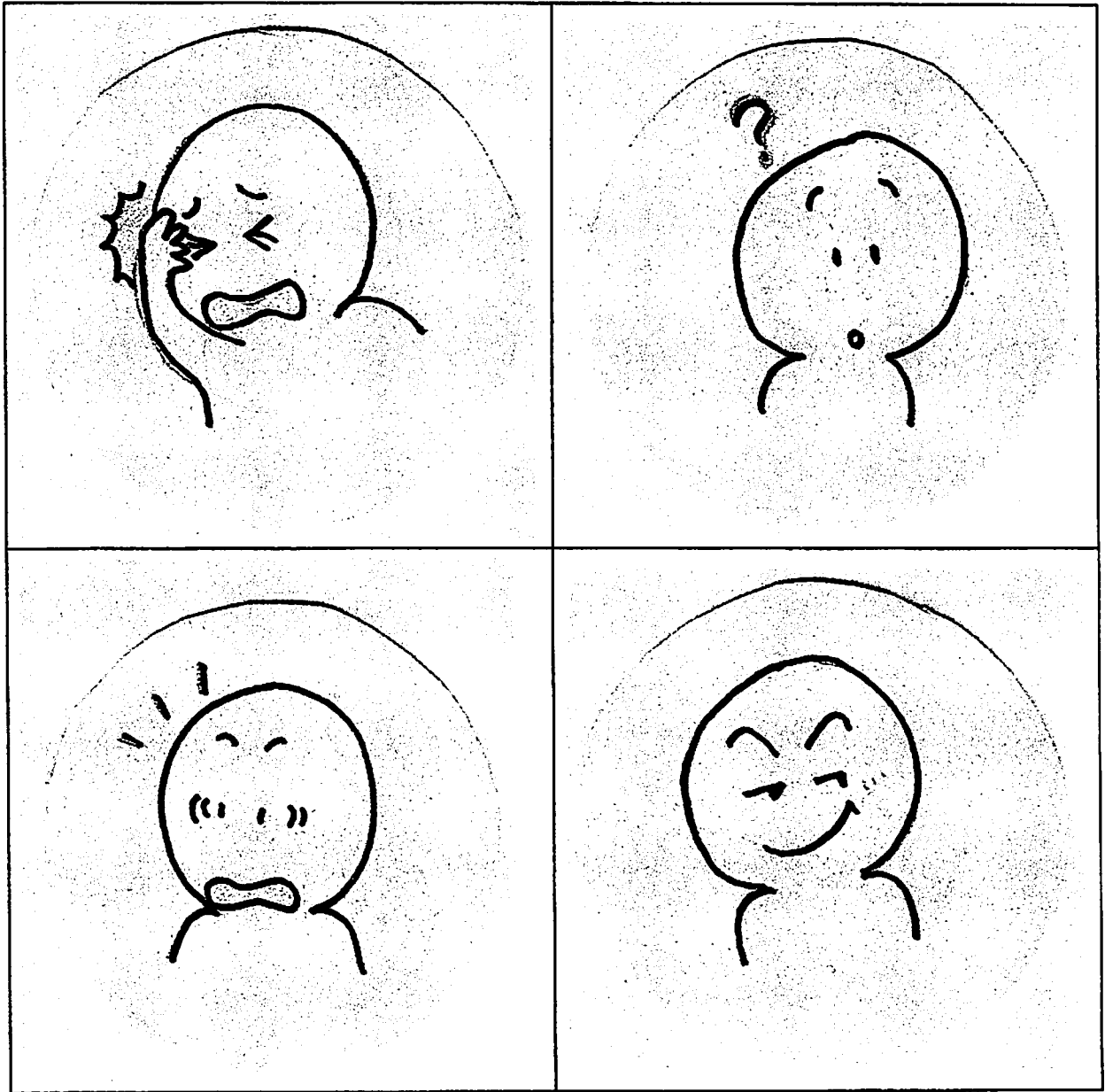
どんなお話をしたの？とはじめに聞くと、自分でいっしょけんめい考えながら、自分の言葉で自分なりに身説明しようとする姿に、成長を感じています。

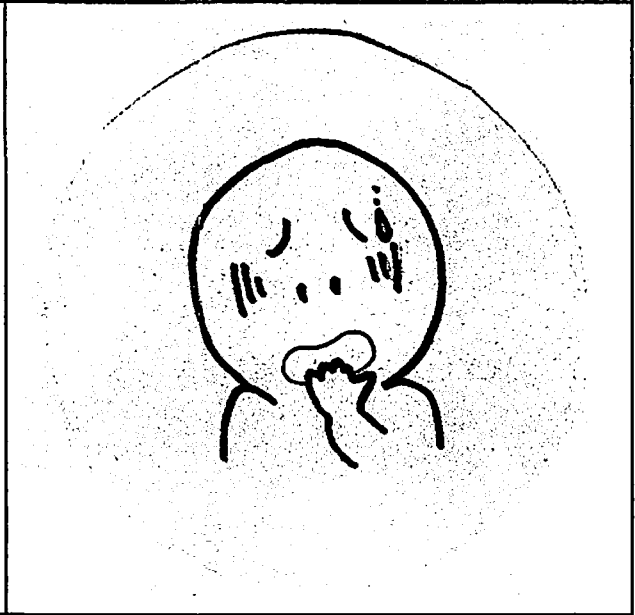
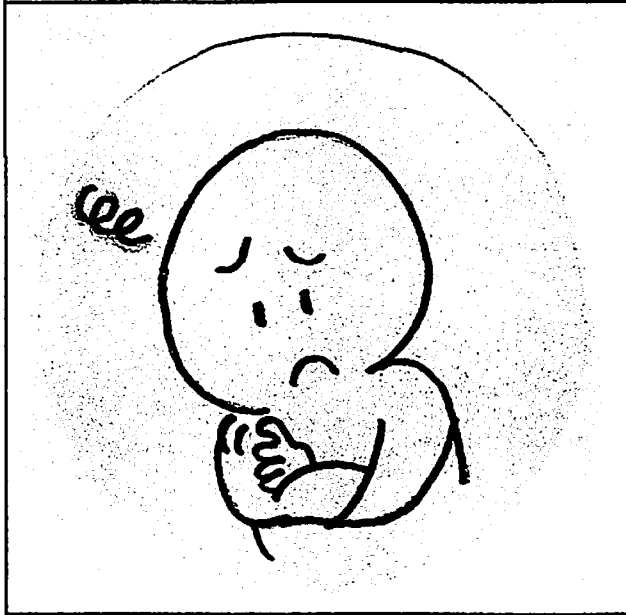
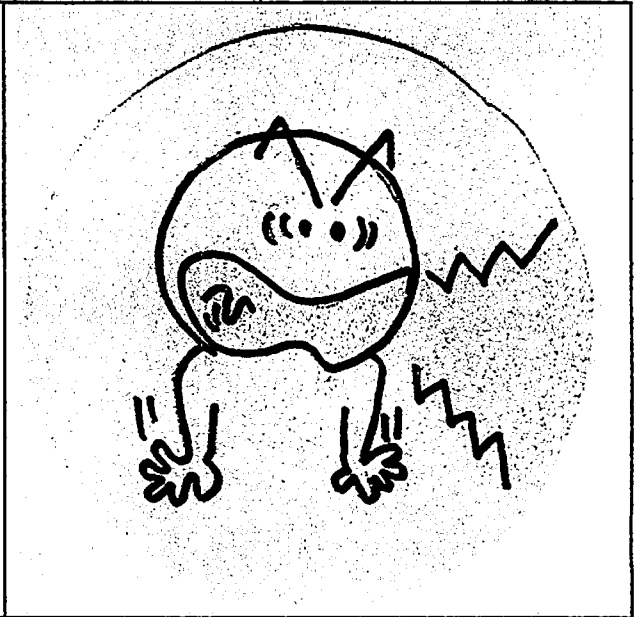
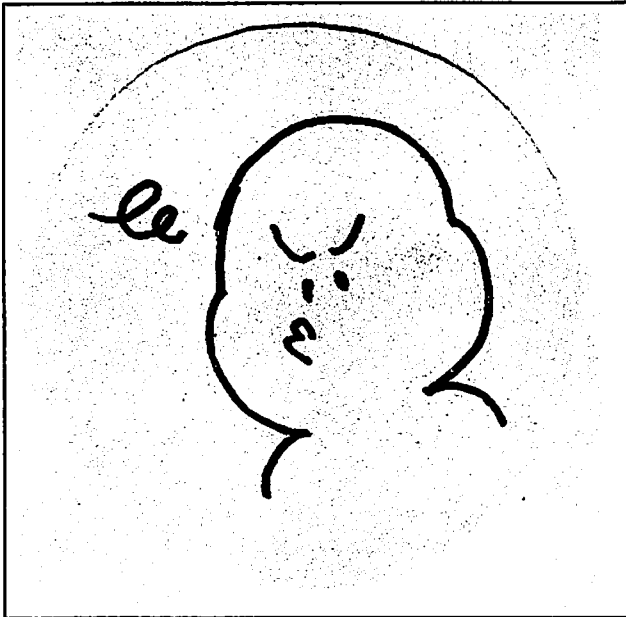
<使用している表情図 >

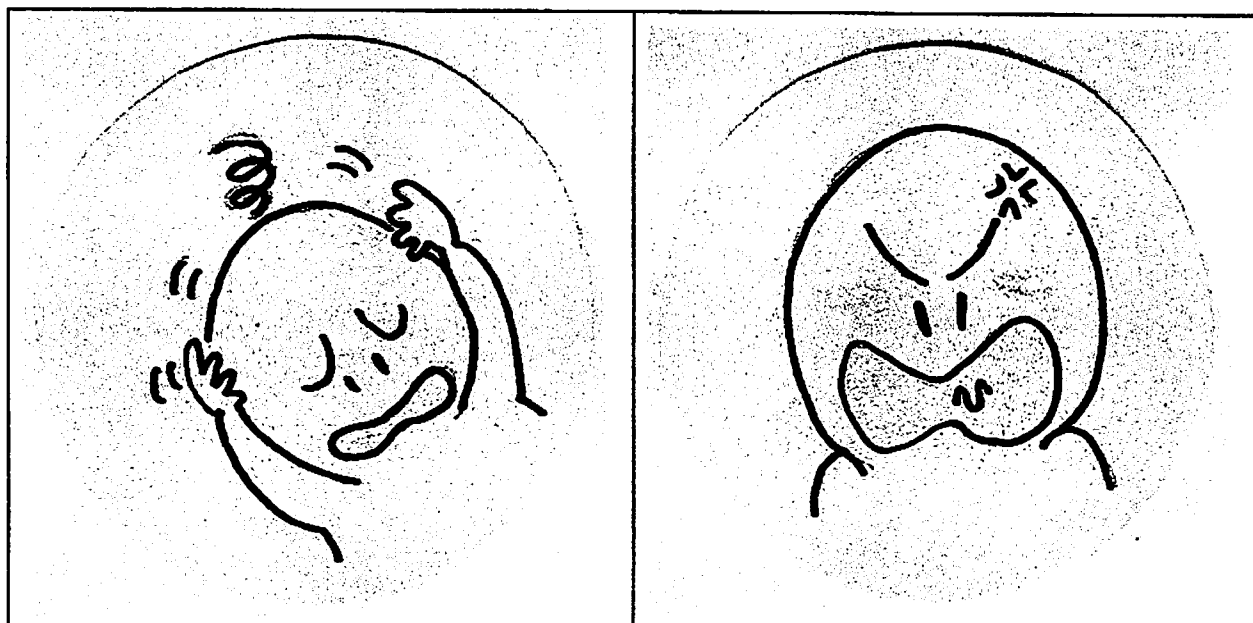












<自己評価カード>

<p>1. きょうのじゅぎょうでは、すすんではっぴょうができましたか。</p>	
<p>2. ともだちのかんがえをきいて、よいところを見つけられましたか。</p>	
<p>3. 「じぶんならどうするか」と、いっしょうけんめいかんがえましたか。</p>	

★おうちの方から一言★